

一回休むと四ヶ月ぶりなわけですな

# 我が胃袋の叫び

ふちんかん

## 2風なんのその! カニにイクラにビール

### 冬といえばカニだろう

冬といえばカニ!異論を挟む余地はありません。足の指の付け根がどうなろうが冬はカニとビールですよ。でもね私、極貧になってしまったので、今シーズンは山陰地方に出動できず鬱々とした日々を過ごしていました。しかし神様はおられるのですかね、ネット通販のサイトで夢のようなオークションを発見したのです。



【10,000 セット大放出!】  
でっかいズワイ蟹がパワーオークションに!

500g がワンセットで 3L・5L サイズそれぞれ一円から入札スタート!

カニのむき身ですよ。それも脚だけ。面倒な部分を一切排除した美味しいとこどり。痛風一直線って感じです。これは入札しないと!

ちなみにパワーオークションってのは、入札した額や数量がオークション終了まで公開されず、オークション終了時点で高額入札者から順に入札した額で落札が決まっていくという形態のオークションなのです。このシステムはオークションにありがちな煽られて高値入札ということがありません。自分が納得できる額で入札できる点が魅力なのです。逆に自分が思っていた額よりも市場の評価が低かったりすると、思わぬ高値で引き取ることもあってアツチャーってこともある諸刃の剣システムですわ。

さて、この商品、3L・5L あわせて 10000 セットです。いままで 1000 セットというのはありましたが、その10倍。これは異様ともいえる出品数です。よほど在庫がだぶついているのか、決算期前の帳尻あわせか、売名行為か、はたまた詐欺か。最後の詐欺だけはシャレにならないので、出品店の評価も遡って調べましたが問題はなさそうです。それに支払いは代引きが原則ですので、まあ大丈夫でしょう (といっても代引きで支払った後、箱を開けてみたら石が入っていたなんてことも有り得ますが)。

入札額はかなり悩みましたよ。普通なら3000円コースです。しかし、この出品数

です。かなり最低落札額が下がるのではないのでしょうか。あなたなら何円で入札しますか？私は最低落札額は 1000 円を切るだろうと考えました。同業他社や出品業者の自演の大量入札も考えられますが、まあその時はあきらめるとしましょう。入札額は 5L に 610 円、3L に 720 円とし、3セットずつ入札しました。食べ応えのある 5L の方が高値になるでしょうから、こっちは引っかければラッキーくらいに考えて低めに設定しました。そして固唾をのんでオークションの終了を待ちましたよ。

結果……両方とも落札できてしまいました。

最低落札額は 5L が 555 円、3L が 501 円でした。両方ともかなりの安値で落札できたようです。ちなみに最高額は 5L・3L ともに 5000 円でした。

送料は代引き手数料込みで 840 円、両サイズを同梱してもらいましたので、実質 1セットあたり 140 円ですみました。カニのむき身が 100g あたり 150 円で買えるなんて！スーパーで売ってる「かにちゃいまっせ」より安いですよ！

スーパーオークションまんせーですよ！

さて届いた商品は……これもまた十分に満足のいくモノでしたよ。

通販の商品説明文や「お客様の喜びの声」なんて眉唾もん、まあ2ちゃんねるの煽りくらいにしか考えていませんでしたが予想外！ いやあこれは良い！（・∀・）ホトイ

両方の実家に半分持って行って、残りはバター焼き・蒸し・しゃぶしゃぶで頂きましたよ。

しかし短期間に食べ過ぎたせいか子どもたちはカニ嫌いになってしまったようです。



バター焼きでっせ



蒸しとイクラでっせ

調子に乗ってイクラも通販で買ってしまいましたよ。冷凍物なので大量買いしても使うたびに必要量だけ解凍できるので便利です。

しかし冬場にカニとイクラとビールなんて…… GotoHeaven! GoTo 2風!!!

## ビール各社から

冬場はビールの消費量が減るので、ビール各社は定番商品の生産量を落とします。それで余ったラインを使うのでしょうか、期間限定ビールの発売が増えますな。今年には特に多かったように思います。前回、ビール減税を見込んでラインナップ拡充がはかられるのではないかと書きました。その前兆かもしれません。

サッポロからは「畑が見えるビール」が限定発売です。

『ドイツ農家 118 軒と協働でつくった大麦の麦芽とホップだけを使用した「生産者の顔が見える原料 100 %」のプレミアムビールです。』  
だそう。飲んでみた感想としては黒ラベルの苦み・コクをさらに上げた旧来のビールくさいビールです。プレミアムと名付けてられています、そんなに高くないですし、私的には定番になりそうですよ。一方で黒ラベルも新しくなりましたが、こっちはなんか今までの個性が薄れたように感じました。ラインナップの戦略的には、エビス-畑が見える-黒ラベルと続き、価格・材料・風味・生産量のバランスは正しいのでしょうか。が、なんか伝統の黒ラベルがこっそり安売り商品向けに味を変えられたようで、どうも釈然としませんな。



続いて麒麟。こちらはチルドビールで「ゴールデンホップ」が発売。最初サントリーからの発売と勘違いしてしまったほど、プレミアムモルツに輪をかけたような香りとかクです。わざとらしさまで感じますが、旨いです。

そして発泡酒を見直すことになりそうなのが「円熟」です。

麒麟はコクを宣伝していますが、私はむしろ発泡酒独特の臭いを感じさせないところを評価しますわ。試しに1缶、次に6缶、そしてついに箱買いしてしまいました。発泡酒で箱買いしたのは初めて。



次はサントリー。限定発売で「ワールドセレクト」。ホームページには現在発売されている赤っぽいデザインのモノしか載っていませんが、緑っぽいモノも発売されていたような。どちらも海外の厳選した素材を使用したもので、コンセプトはサッポロの「畑が…」と同じです。飲んでみた感想は「うんうん、こだわってるよね、風味も良いよね、ただ値段がね。」



一方で定番のモルツも一新。こちらは風味をプレミアムモルツに近づけてきました。サッポロとは逆の戦術ですな。ノーマルビールの中では一番の風味です。(・▽・)ｲ

サントリーは香り・風味系で新境地を開くつもりなのでしょうな。

え～最後にアサヒですが……「熟選」とか「刻々の生ビール」とか「スーパーモルト」とか色々出てきてますが、「マイルドアロマ」しか飲んでません。こいつは特記事項なしです。



なんかアフェくさいページになってしまいましたな……ほな、また。